



一生懸命だよ



今こそ助け合う時です 3月11、12日大震災・津波・原子力発電所事故

東北地方・栄村をはじめ県北部の被災されたすべての皆様にお見舞い申し上げます。お亡くなりになられた皆様のご冥福をお祈り申し上げます。栄村で被災されている皆様、東日本の各地で避難所におられる皆様、一瞬のうちに津波にさらわれた地域・生活・家族・友人・知人……そしていまだ多くの行方不明の方々がおられます。又、福島原子力発電所の事故は天災ともその後の対応は「人災」ともいわれる状況になっています。次代を担う子ども達の為に「脱原発」を今こそ声を大にして訴える時ではないかと思えます。

県議は3月17・18日と早速4tトラック4台の物資と共に東北の福島県にとびました。震災翌日から集まったフィリピン医療ボランティアの皆様からの大量のマスク・歯ブラシをはじめ毛布・衣料、義援金や急を要する粉ミルク・下着・女性用品・紙オムツ等を早く届けたいと思っている矢先、島田代表の関係する「信州上田真田救援隊」が被災地へいち早く飛ぶことを聞き、「信州佐久平救援隊」として合流させていただきました。

地元の青年僧侶の方々リードで福島県内の4市に必要な物を直接届けることができました。最後の田村市は第1原発の近くで4万人の都市に8000人以上の避難された方がいて、暖をとるものでも食料でも何でも置いてほしいとの事でした。皆様の善意ありがとうございました。



3月17日夜 福島県須賀川市体育館前で—
必要な物資を必要な所に1週間以内に直接届ける



3月18日 福島県田村市役所—市長・副市長より
第1原発の事故による避難状況を聞く



栄村役場にて—副村長より被災状況・避難状況を
伺い復興に向けて意見交換をする

